

編集後記

今号の特集は「学術コミュニケーションを支える：研究・教育活動に参画するメディアセンター」である。日々、忙しく目の前の業務に向き合う中で、自分が今取り組んでいる仕事が慶應義塾の三大事業である研究・教育・医療を支えているという意識が、すべてのスタッフの頭の中に常にあるとは限らない。だからこそ特集において、特徴的に切り出せるメディアセンターのいくつかのプロジェクトについて、特に研究・教育への関わりの側面から論じてもらった。メディアセンターの蔵書構築に長く携わってきたベテランスタッフによる座談会は、これまでに培われてきたノウハウを伝授してもらいたい、という中堅・若手からの希望で実現したものである。

特集以外でも、メディアセンターが持つ知的資産や施設を十分に活用してもらうための取り組みをバリエーション豊かに紹介している。コロナ禍で止めざるを得なかった海外研修は2年半ぶりに1名の米国派遣がかない、海外レポートが復活した。来年以降も継続できることを願っている。

『MediaNet』は、そのときを振り返る大事な資料／史料となることも一つの使命であり、資料編では、前号までの「メディアセンターの主な出来事」を充実させて倍のページを割く形で継承し「メディアセンターの活動の記録」に改めた。今は読まれずとも、将来役に立てば嬉しい。

(関口素子)

誌名変遷

八角塔 : 1号 (昭42 (1967). 7) - 6号 (昭45 (1970). 3)
KULIC (ISSN 0913-0705) : 1号 (昭45 (1970). 10) - 26号 (1992. 11)
MediaNet (ISSN 0919-8474) : No. 1 (1993. 11) -

MediaNet 第29号 2022年10月31日発行

編集 MediaNet 編集会議
発行者 松本和子
発行 慶應義塾大学メディアセンター
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
電話 03-5427-1644
表紙デザイン 有限会社 梅沢印刷所 (小林克年)
表紙写真 広報フォトライブラリー
印刷 有限会社 梅沢印刷所

MediaNet 編集会議

編集長 関口素子 (本部)
編集員 川崎直子 (三田), 中村和美 (日吉), 遠藤泉 (信濃町),
岡本聖 (理工学), 稲垣侑華 (湘南藤沢), 池田三津代 (本部)
E-mail : mc-medianet-group@keio.jp
URL <https://www2.lib.keio.ac.jp/publication/medianet/>
